

働く男のライフスタイル情報紙

Biz^[ビズスタ]Life Style

特別版

2020 01

『BizLifeStyle』は東京、名古屋、関西、
京都、仙台、福岡、広島にて55.4万部発行
下記URLまでアクセスを。

www.biz-s.jp

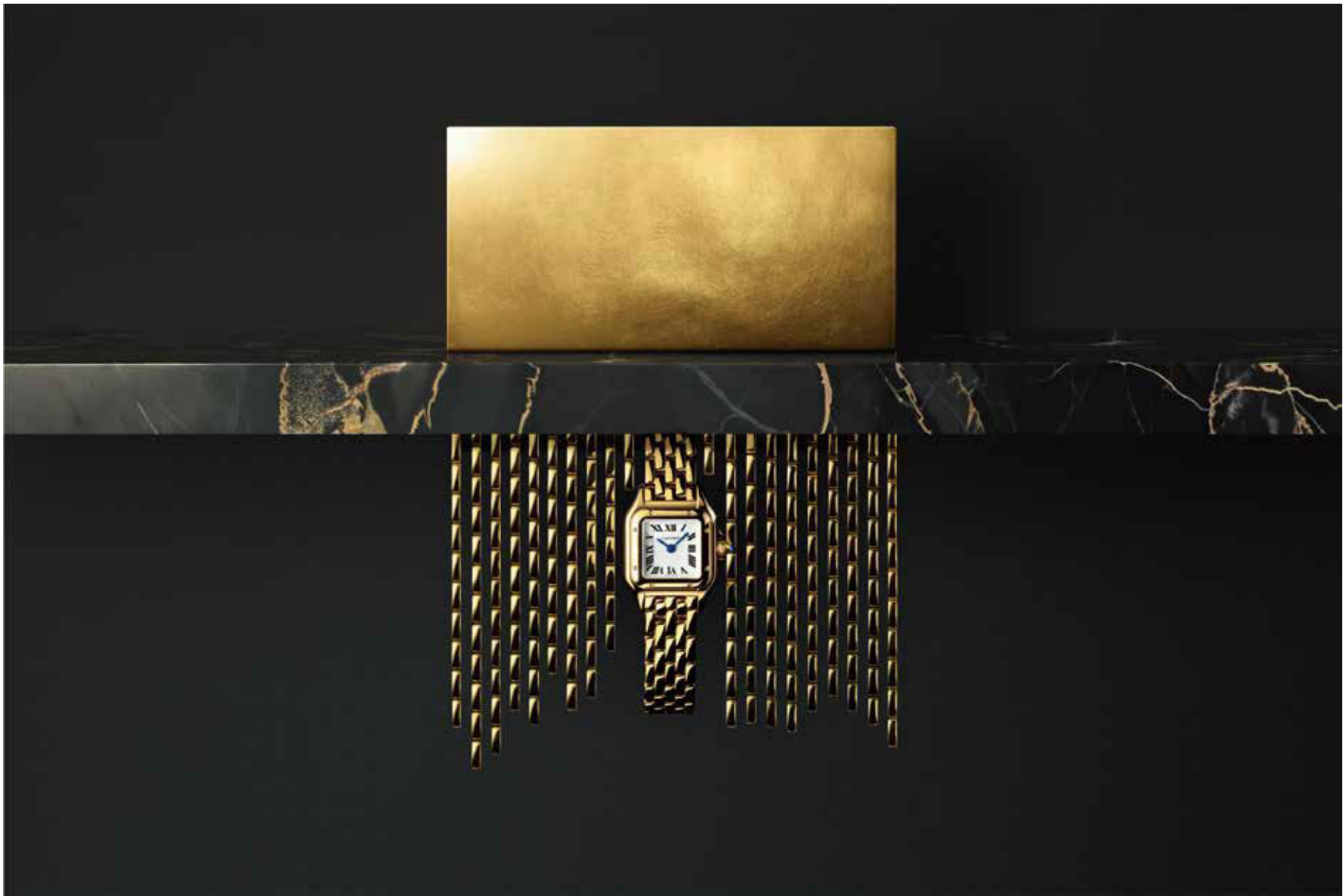
広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは
TEL.03-6854-7001 FAX.03-6854-7005

企画・制作／株式会社ディリースポーツ案内広告社
〒110-0015 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 14F
© 2020 DAILY ADVERTISING AGENCY CO.,LTD



THE BAIGNOIRE, A SIGNATURE WATCH

ベニユワール。美のメゾンから、エスプリが息づくタイムピース。



2つの伝説的レディースウォッチが それぞれ新作コレクションを発表

1847年、腕利きの宝石細工師だったルイ・フランソワ・カルティエがパリの街角に構えた工房で歴史の幕を開けた。カルティエは、当時最も王侯貴族や社交界で輝くセレブリティたちから絶大な信頼を勝ち得るハイジュエリーメゾン。実に160年を超えるその「美」の足跡は、常に時代を先取るバイオーブ精神に満ちたストーリーに彩られています。

女性たちが腰を締めつけるコルセットから本格的に解放され始め、アールヌーヴォー、アールデコへと移る芸術性の成熟に建築界や工業デザイン界が沸いた。19世紀末から20世紀初頭のヨーロッパ。至高とも言えるジュエリーの発表を重ねながら人々の美意識を育て、やがて訪れる女性の時代をも先導したカルティエは、実は時を同じうしてさまざまな業界で新風を吹き込んでいました。

分野は多岐にわたり、その代表がウォッチでした。時を知らせる機械だった腕時計を、オーナーの自己表現の場へと変貌させてしまったのです。

「一度見たら忘れない」橋田の美伝説の名コレクションが突如復活

著名な飛行家からフライト中に操縦棒から手を離さず時刻を確認したいという相談を受け、懐中時計を腕に巻くスタイルを着想した3代目ルイ・カルティエは、1904年に伝説の「サケイ」を手に取る

と、今日の目で見ても「最先端ではないか」と思えるほどの先進性に感嘆させられます。その基本デザインが百年以上も前に生まれたもので、こちらも現代まで生き続けるスケッチデザインの究極、サントスとほぼ同時代に作られたという事実には、ただただ驚きを隠せません。

パンテールドゥ・カルティエはコレクションがさらに幅広く

もついでに、こちらも世界中の耳目を一身に集めているのが、カルティエのアイコンである「パンテールドゥ・カルティエ」です。1900年代に世を風靡した名作で、2007年に新作コレクションを発表。全世界の女性から喝采を浴びましたが、中でも日本の女

ントスを制作。実用性と美観を兼ね備えた「腕時計」という新たなジャンルを開拓したメゾン・カルティエは、その発想の翼をレディー・ウォッチの世界へと広げます。

現代アートを思わせる見事な橋田形のデザインを実現した「ペニウール」は、1912年に誕生しました。西洋浴槽を意味するネーミングは、マリ・パウエロナ公爵夫人が名付けたものとされています。フェミニンな世界観を描き切った大胆かつ上品なラウンドフォルムは、当時の高感度な女性たちのアンテナをおおいに刺激。時代の流行にとわれ過ぎず、自由と洒脱さを愛する彼女たちのライフスタイルを表現するアイデアとして、世界中を魅了しました。「一度見たら忘れない」カルティエは、カルティエのアイコンのひとつへと昇華。世の女性たちの憧れのウォッチとして、その後も発展を続けることになりました。

今年の新作コレクションは、防水性など腕時計としての機能は現代の基準にアップデートしつつ、伝説のデザインがより洗練され、大きな話題となりました。また、こちらもレジェンダリーな1960年代の派生モデル「ペニウール・アロンジエ」の新作まで登場。穏やかでクラシカルなペニウールと、突った個性が楽しいアロンジエの新作が揃ったという驚きの光景に加え、カルティエジュエリーの特徴的な装飾のひとつである「クルドゥ・パリ」の時計の

性たちからは大きな反響を呼んでいます。

パンテールドゥ・カルティエの特徴は、もはやウォッチというよりもジュエリーであると感じるほど優雅な着け心地。腕に巻いた時の気品は仕草で、フォーマルだけでなくカジュアルにも映えるウルトラフュージョンなエレガンス。新作コレクションでは、滑らかなブレスレット部にホリウム感を加えたカフウォッチや、他のアイテムとの重ね着けも楽しそうなるミニウォッチまで登場。後者にはサントススタイルモデルも加わるなど、コレクションの幅が広がりました。

カルティエのレディースウォッチには、さまざまな女性像が映じ出されています。ピチピチと清楚に知的でクリエイティブにインディビジュアルに、センシユアリテイに……、多様な自分を試したくなる。現代のマスターピースたち。実際に手に取っていただくまで。



パンテールドゥ・カルティエ
CRWJPN0020
Mini (25×21mm)
ピンクゴールド、ダイヤモンド
2,943,600円



パンテールドゥ・カルティエ
CRWJPN0019
Mini (25×21mm)
ホワイトゴールド、ダイヤモンド
3,168,000円



パンテールドゥ・カルティエ
CRWGP00008
SM (30×22mm)
イエローゴールド
2,244,000円



パンテールドゥ・カルティエ
CRW3PN0006
SM (30×22mm)
ピンクゴールド、スチール、ダイヤモンド
1,254,000円



ペニウール アロンジエ
CRWJBA0007
MM (47×21mm)
ホワイトゴールド、ダイヤモンド
4,818,000円



ペニウール アロンジエ
CRWGBA0010
XL (52×23mm)
ピンクゴールド
3,841,200円



ペニウール
CRWJBA0015
SM (32×26mm)
ホワイトゴールド、ダイヤモンド
3,630,000円



ペニウール
CRWGBA0007
SM (32×26mm)
イエローゴールド
1,280,400円

My Favorite Life Style



サントス デュモン
CRW2SA0012
SM(38×27.5mm)
ピンクゴールド、スチール
577,500円



サントス デュモン
CRWSSA0023
SM(38×27.5mm)
スチール
407,000円



『サントスドゥカルティエ』は、まさにウォッチメゾンとしての『カルティエ』の原点ですが、その革新性はオリジナルの誕生から115年を経た今も揺らぎません。「時の試練」を超越する普遍性は、『ヘンリウォール』や『パンテールドゥカルティエ』にも共通するカルティエの真髄といえるでしょう。

スデュモン」が登場。約6年間の連続作動能力を誇るクォーツムーブメントの採用にも注目を。誕生の経緯から、常に実用性が主題のひとつとなってきたサントスだけに、従来の倍にあたるという能力向上は特筆すべき進化といえます。

クロノグラフにもサントスのパイオニア精神とエレガントなスタイルが表現されています。

ここまでカルティエウォッチの最新コレクションを紹介してきましたが、「美のメゾン」の真価は、ぜひ店頭でお手に取っておたしかめ下さい。



サントスドゥ カルティエ クロノグラフ
CRWSSA0017
XL(51.3×43.3mm)
スチール、ADLC
1,003,200円



サントスドゥ カルティエ クロノグラフ
CRWGSA0017
XL(51.3×43.3mm)
ピンクゴールド
2,904,000円

Maud Remy-Lonvis © Cartier

Laziz Hamani © Cartier

Vincent Wulverryck © Cartier

掲載した商品の価格は令和元年10月20日時点の税込表記です。価格や仕様は予告なしに変わることがございます。

Biz Life Style Pick up >>>

ラグジュアリーな空間で、最新コレクションの美を吟味する喜びを。
そごう千葉店「カルティエ ウォッチサロン」をオープン!



そごう千葉店の4階に昨秋オープンした「カルティエウォッチサロン」。同フロアの時計サロンから規模を拡大しての移転リニューアルで、カルティエウォッチの専門コーナーとしては国内最大級を誇る。サロン内では、人々の「永遠の憧れ」であり続けるメゾン最新のコンセプトを反映した上質なインテリアを展開。本紙掲載の新作コレクションをはじめとする豊富な品揃えで、カルティエならではの個性的な美を手にとって確かめることができる。

そごう千葉店 4階時計サロン 取扱いブランド

カルティエ、フランク ミュラー、オメガ、グランドセイコー、ユリス・ナルダン、ゼニス、ショパール、ブライトリング、タグ・ホイヤー など

そごう千葉店 カルティエ ウォッチサロン

千葉市中央区新町1000番地 電話 043(245)8181(直通) 営業時間:午前10時～午後8時

カルティエ カスタマー サービスセンター
フリーダイヤル 0120-301-757
受付時間/10:00～20:00 無休(年末年始を除く)

www.cartier.jp